ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。

屋外(内)用　UHFラインブースター（家庭用）

UHF LINE BOOSTER
増幅チャンネル　ch.13 ～ 62
UB18L
DC12 ～ 15V方式

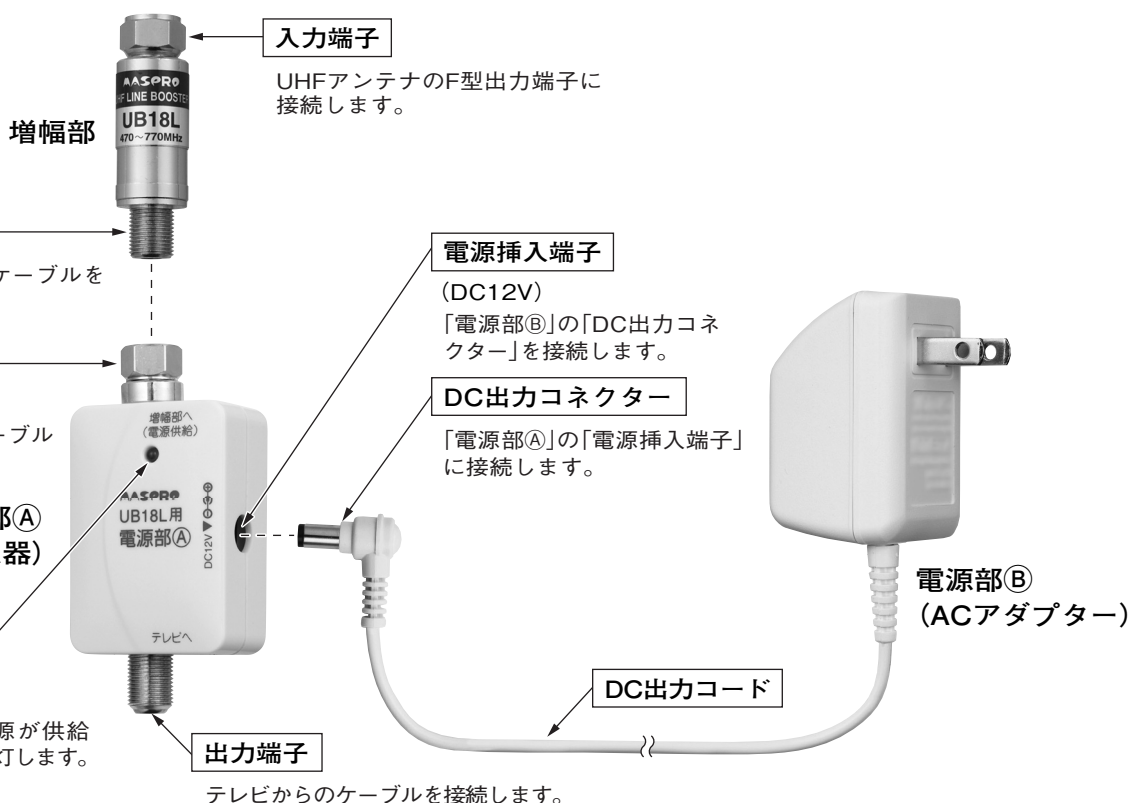
F型端子

18dB型

取扱説明書

DIGITAL デジタル放送対応

UHFアンテナのF型出力端子に取付けて，テレビ信号の品質の劣化を改善したり，ケーブルの途中に取付けてUHF信号レベルの低下を補ったりするためのUHFブースターです。

MASter of PROduction 生産の覇者

ご注意

- 電波が強い地域の場合，本器を使用しても効果が得られないことがあります。
- 受信環境が悪い(ビルなどによる反射波や妨害電波などを受信している)場合，本器を使用しても効果が得られないことがあります。
- 電波が弱く，アンテナとテレビを短いケーブルで接続している状態でも地上デジタル放送の映りが悪いとき，本器を使用しても効果が得られません。
- 本器はBS・CS帯域，VHF帯域を通過しません。
- 電源部Ⓐ，Ⓑは屋外で使用しないでください。

優れた性能と機能

簡単設置

UHFアンテナのF型出力端子に接続するだけで，簡単に取付けられます。

低雑音

雑音指数(NF)が1dB以下の低雑音ですから，UHFアンテナのF型出力端子に取付けると効果を発揮します。

DIGITAL デジタル放送対応　各種デジタル放送を，より高画質で見るために，妨害電波の影響を受けにくい，高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している，信頼のマークです。

だ・から
無鉛はんだの採用，カドミウム・水銀などの不使用により，RoHS指令に対応。

安全上のご注意

ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は，次のとおりです。

⚠ 警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および，物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は，注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容(左図の場合，警告または注意)が描かれています。
	⊘記号は，禁止の行為を示しています。 図の中に禁止内容(左図の場合，分解禁止)が描かれています。
	●記号は，行為を強制したり指示する内容を示しています。 図の中に指示内容(左図の場合，電源部ⒷをACコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告

電源部Ⓐ：電源挿入器
電源部Ⓑ：ACアダプター

●既設のアンテナに増幅部を取付ける場合，アンテナや本器，その他の部品が落下してケガの原因となりますから，アンテナを取外し安全な場所で行なってください。

●電源部Ⓑは，AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部ⒷのDC出力コードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引っ張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近付けたりしないでください。電源部ⒷのDC出力コードが破損して，火災・感電の原因となります。電源部ⒷのDC出力コードが傷んだ場合(芯線の露出，断線など)，販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●電源部Ⓐ，電源部Ⓑのカバーを取外したり，改造したりしないでください。また，電源部Ⓐや電源部Ⓑの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は，必ず販売店にご依頼ください。

●電源部Ⓐ，電源部Ⓑの内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部Ⓐ，電源部Ⓑを風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部Ⓑは，風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり，火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
・押入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押し込む。
・テーブルクロスを掛けたり，じゅうたんや布団の上に置いたりする。
・布や布団でおおったり，包んだりする。

●電源部Ⓐ，電源部Ⓑに水をかけたり，濡らしたりしないようにしてください。電源部Ⓐや電源部Ⓑの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合，火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が，充電器やACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合，火災・感電の原因となります。

●雷が鳴出したら，電源部Ⓐ，電源部Ⓑには触れないでください。感電の原因となります。

●電源部Ⓐ，電源部Ⓑおよび増幅部は，必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと組合わせて使用しないでください。火災の原因となります。

●万一，電源部Ⓐ，電源部Ⓑおよび増幅部の内部に，異物や水が入った場合，電源部ⒷをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 警告

●万一，電源部Ⓐ，電源部Ⓑおよび増幅部を落としたり，破損したりした場合，電源部ⒷをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●万一，煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐに電源部ⒷをACコンセントから抜き，煙や臭いがなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから，絶対におやめください。

⚠ 注意

●電源部Ⓐ，電源部Ⓑは，湿気やほこりの多い場所，調理台や加湿器の近くなど，油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源部Ⓐ，電源部Ⓑは，温室やサンルームなどの，高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源部ⒷをACコンセントから抜くときは，DC出力コードを引っ張らないでください。DC出力コードが傷つき，火災・感電の原因となることがあります。必ず電源部Ⓑを持って抜いてください。

●濡れた手で，電源部Ⓑを抜差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●移動させる場合，必ず電源部ⒷをACコンセントから抜いてください。DC出力コードが傷つくと，火災・感電の原因となることがあります。

●お手入れは，安全のため，必ず電源部ⒷをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

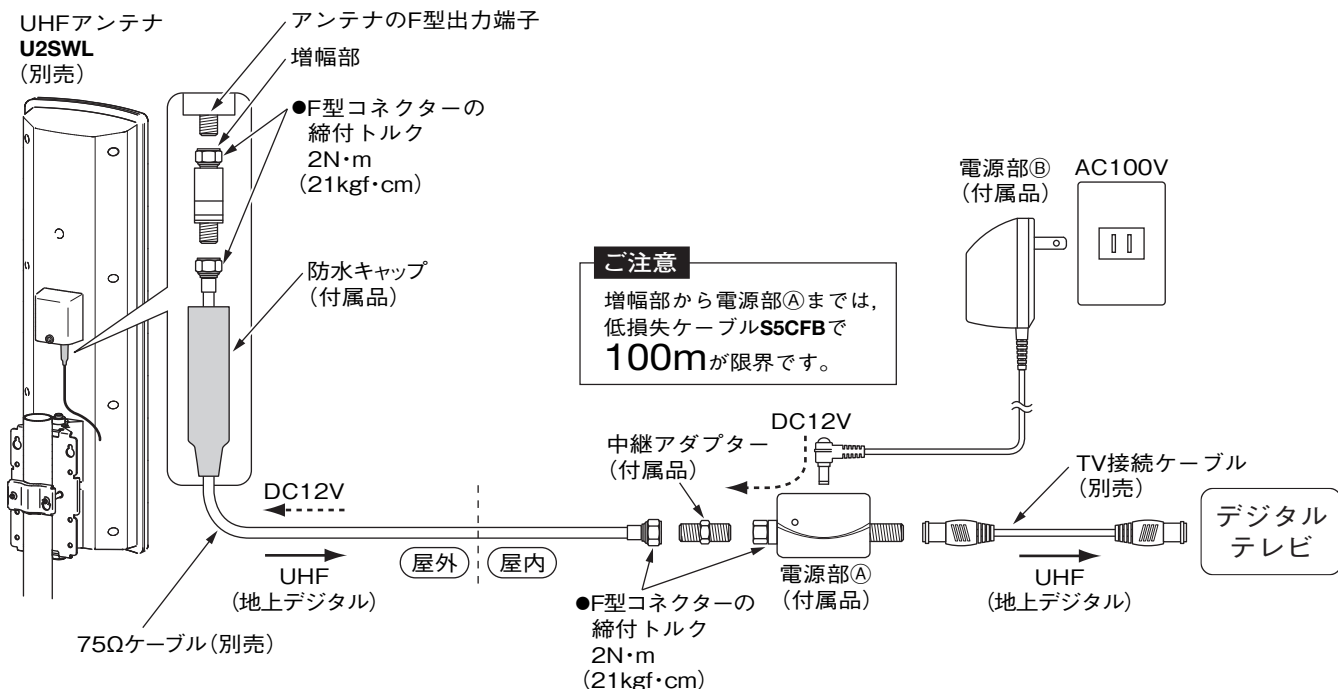
●長期間，使用しないときは，安全のため，必ず電源部ⒷをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

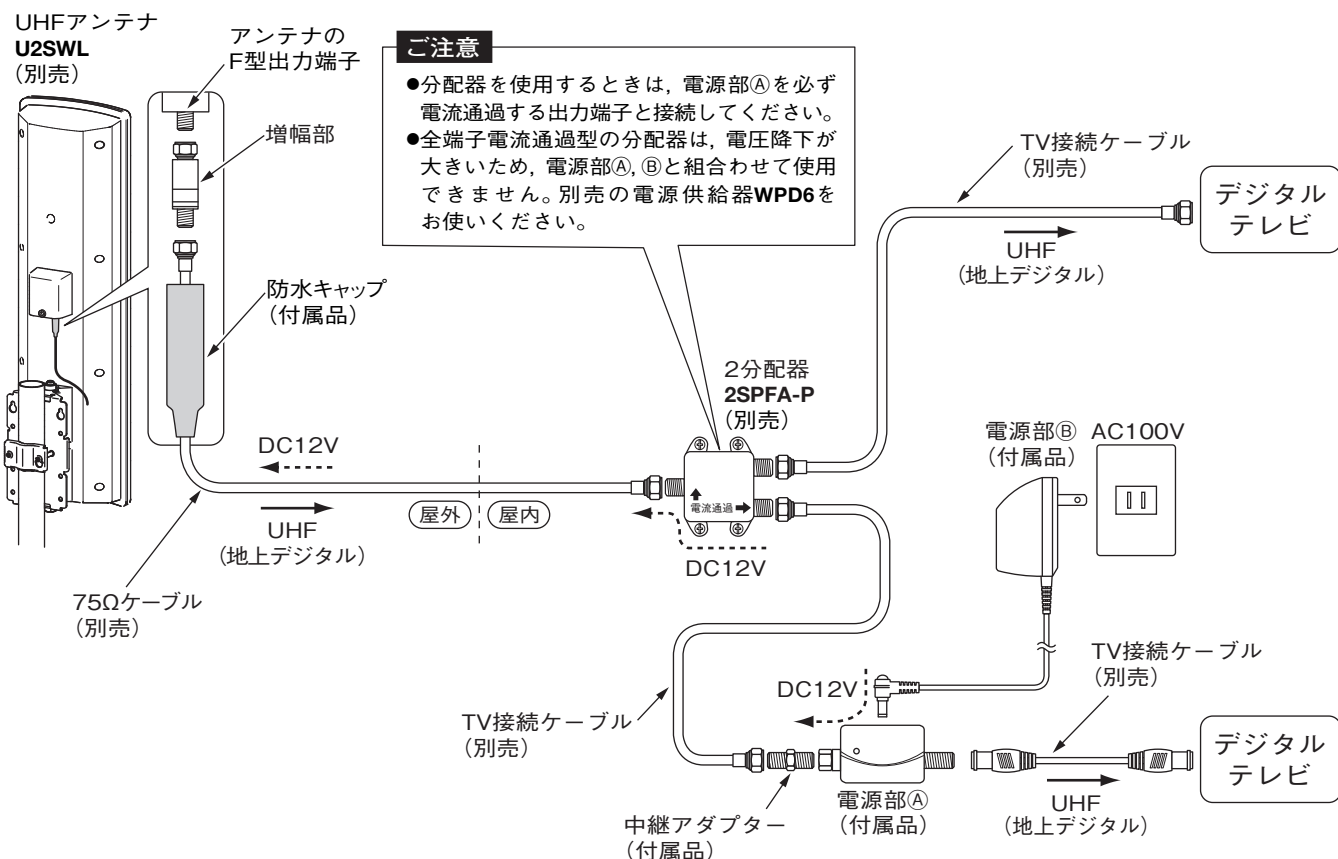
●電源部Ⓑは，ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり，火災の原因となることがあります。また，電源部Ⓑは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

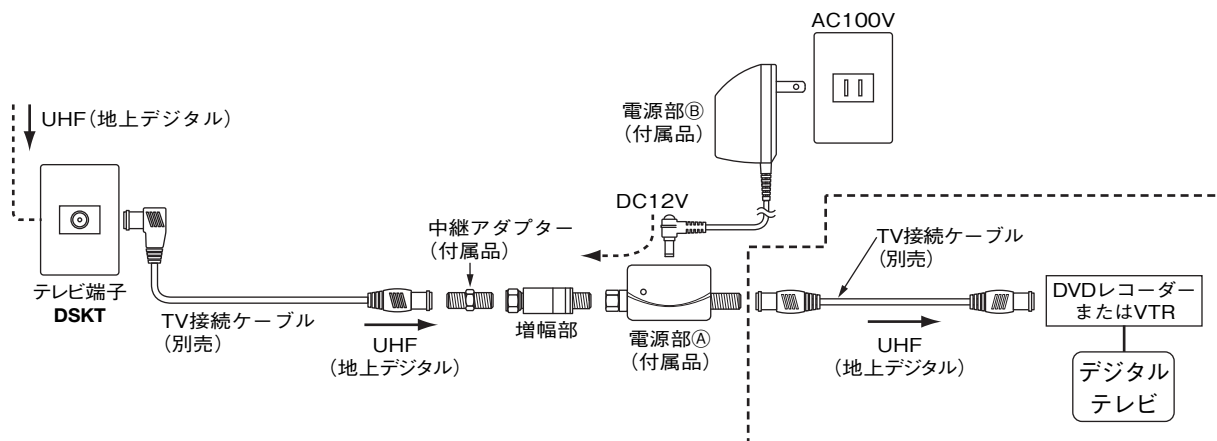
●雷の発生が予想されるときは，前もって，電源部ⒷをACコンセントから抜いてください。落雷によって，火災の原因となることがあります。

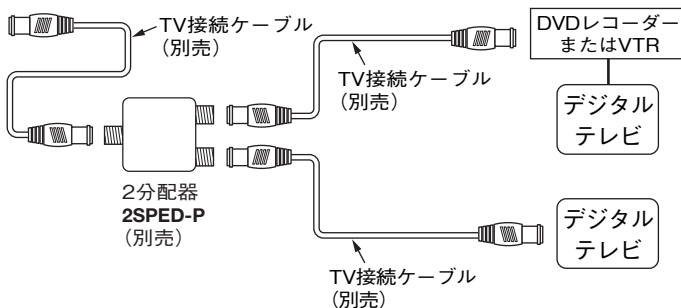
使用例

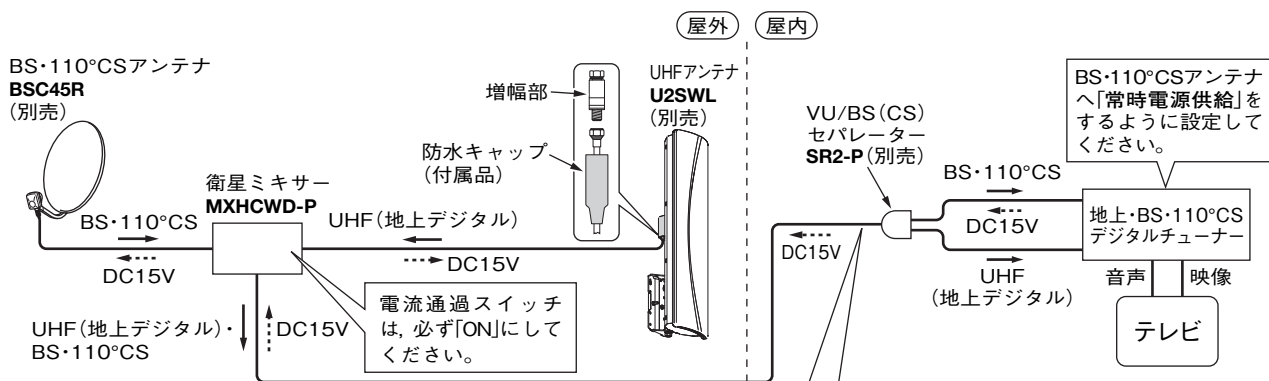
地上デジタル受信例 1

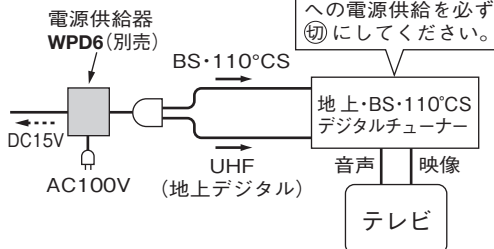
アンテナとテレビを短いケーブルで接続すると地上デジタル放送を見られるが，
ケーブルを長くすると映らなくなる場合

地上デジタル受信例 2

アンテナとテレビを短いケーブルで接続すると地上デジタル放送を見られるが，
分配器を使ってテレビの数を増やすと映らなくなる場合

地上デジタル受信例 3

壁面のテレビ端子に直接テレビを接続すると地上デジタル放送を見られるが，テレビ端子とテレビの間にDVDレコーダーや分配器などを使用すると映らなくなる場合

ご注意

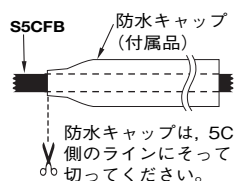
UHFラインブースターを設置しても，デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値は上がりません。（変わらなかったり下がったりすることもありますが，本器の不具合ではありません）

地上デジタル・BS・110°CS受信例

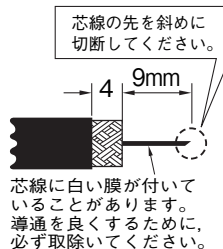
地上デジタル放送とBS・110°CSデジタル放送を衛星ミキサーを使って1本のケーブルで引き込む場合

ご注意

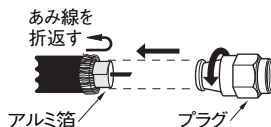
- 本器の増幅部は，BS・110°CSの信号を増幅も通過もしません。1本のケーブルで屋内に引き込む場合，別売の衛星ミキサー **MXHCWD-P**が必要となります。
- 電源部Ⓐ，Ⓑは使用しません。（地上・BS・110°CSデジタルチューナーまたは地上・BS・110°CSデジタルテレビのBS・110°CSアンテナへの電源供給機能を使用して電源を供給します）

F型コネクターの取付方法

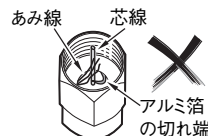
●接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。
●F型コネクター(**FP5**)は別売です。

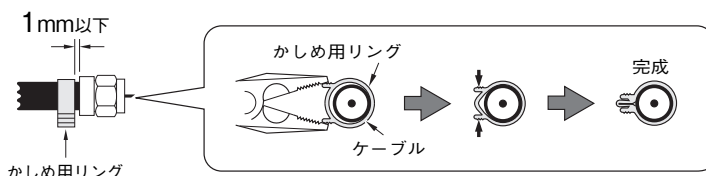
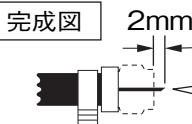
ご注意
既設のアンテナにケーブルが接続されているときは，コネクターの近くでケーブルを切断して付属の防水キャップにケーブルを通してからF型コネクターを取付けてください。

①ケーブルを付属の防水キャップに通してください。

②ケーブルの加工
(加工寸法は原寸大です)

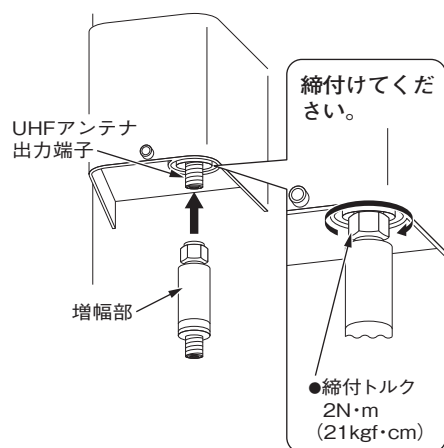
芯線に白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために，必ず取除いてください。

③プラグの取付け

1.かしめ用リングにケーブルを通してください。
2.あみ線(銅編組)を折返してください。
3.プラグの内側にアルミ箔が入るように，アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら，ていねいに押し込んでください。

あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線(銅編組)やアルミ箔の切れ端は，取除いてください。芯線に接するとショート状態になり，テレビを見られなくなります。

④かしめ用リングをペンチで圧着

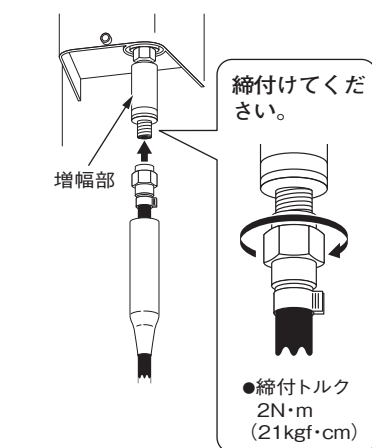
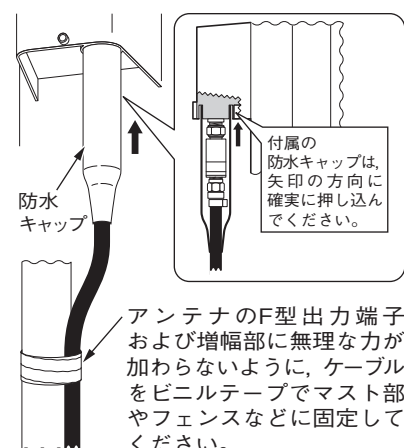
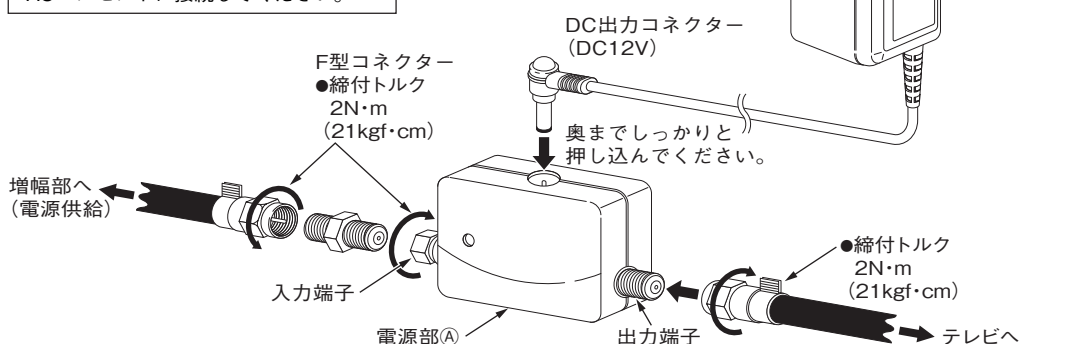
プラグが抜けないように，プラグの根元でしっかりと圧着してください。

芯線の長さは，必ず2mmにしてください。
芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

増幅部の取付け (屋外)

ご注意
付属の防水キャップが取付けられないときは，市販の防水テープを増幅部およびコネクター全体に巻いてください。
当社推奨品：フィットテープ(住友スリーエム製)

①アンテナのF型出力端子へ増幅部を取付けます。

②ケーブルを増幅部の出力端子に取付けます。

③防水キャップを取付けます。

アンテナのF型出力端子および増幅部に無理な力が加わらないように，ケーブルをビニルテープでマスト部やフェンスなどに固定してください。

電源部Ⓐ，Ⓑの接続 (屋内)

ご注意
電源部Ⓑは，配線がすべて終了してからACコンセントに接続してください。

地上デジタル放送が見られないとき

- ●増幅部，ケーブルのコネクターの芯線が曲がっていませんか。
- ●電源部Ⓑのの DC出力コネクターは，電源部Ⓐの電源挿入端子の奥までしっかりと押し込んでいますか。
- ●電源部ⒷはACコンセントに差込んでありますか。
- ●電源部Ⓐの入力端子（増幅部へ），出力端子（テレビへ）は正しく接続されていますか。
- ●デジタルチューナーまたはデジタルテレビから電源供給している場合，「常時電源供給」に設定しましたか。

規格表 Specifications

増幅部

MASPRO

項目 *Items*	規格
伝送周波数帯域（受信チャンネル） *Frequency Range*	470 ～ 770MHz（ch.13 ～ 62）
利得 *Gain*	16 ～ 20dB
雑音指数 *Noise Figure*	1dB以下
実用入力レベル *Operating Input Level*	40 ～ 73dBμV
定格出力レベル *Rated Output Level*	93dBμV
VSWR *Voltage Standing Wave Ratio*	3以下
入・出力インピーダンス *Input/Output Impedance*	75Ω（F型コネクター）
電源 *Power Requirements*	DC12V 0.03A（付属電源部Ⓐ, Ⓑ使用時） DC15V 0.05A（別売の電源供給器**WPD6**使用時）
使用温度範囲 *Temperature Range*	㊀20 ～ ㊉40℃
外観寸法 *Dimensions*	50（H）×15（φ）mm
質量（重量） *Weight*	約30g

電源部Ⓐ（電源挿入器）

MASPRO

項目 *Items*	規格
伝送周波数帯域 *Frequency Range*	70 ～ 770MHz
挿入損失 *Insertion Loss*	1dB以下
VSWR *Voltage Standing Wave Ratio*	1.5以下
電流容量 *Power Supplying Capacity*	0.04A以下
供給電圧 *Supply Voltage*	DC12V
使用温度範囲 *Temperature Range*	0 ～ ㊉40℃
外観寸法 *Dimensions*	75（H）×36（W）×22（D）mm
質量（重量） *Weight*	約45g

電源部Ⓑ（ACアダプター）

MASPRO

項目 *Items*	規格
1次電圧 *Primary Voltage*	AC100V 50･60Hz
出力電圧（電流） *Output Voltage / Current*	DC12V（0.05A）
使用温度範囲 *Temperature Range*	0 ～ ㊉40℃
外観寸法 *Dimensions*	57（H）×36（W）×36（D）mm （ACプラグ部含まず コード長 1.8m）
質量（重量） *Weight*	約125g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

MASter of PROduction
生産の覇者

付属品

電源部Ⓐ（電源挿入器）………… 1個
電源部Ⓑ（ACアダプター）……… 1個
中継アダプター………………… 1個
（電源部Ⓐに付いています）
防水キャップ…………………… 1個

2K56-334

製品向上のため 仕様･外観は変更することがあります。

地デジをすべての人に届けたい
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80
技術相談 TEL名古屋 **(052) 805-3366**
受付時間 9～12時，13～17時
（土･日･祝日，当社休業日を除く）
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は，お近くの支店･営業所にお問合わせください。

支店･営業所

九州沖縄（シ）（092）551-1711
福 岡（支）（092）551-1711
沖 縄 （098）854-2768
鹿児島 （099）812-1200
宮 崎 （0985）25-3877
熊 本 （096）381-7626
長 崎 （095）864-6001
北九州 （093）941-4026
下 関 （083）255-1130

中国四国（シ）（082）230-2359
広 島（支）（082）230-2351
松 江 （0852）21-5341

岡 山 （086）252-5800
松 山 （089）973-5656
高 知 （088）882-0991
高 松 （087）865-3666

近 畿（シ）（06）6632-1144
大 阪（支）（06）6635-2222
姫 路 （079）234-6669
神 戸 （078）231-6111
京 都 （075）646-3800

東海北陸（シ）（052）802-2233
東 海（工）（052）804-6262
名古屋（支）（052）802-2233
津 （059）234-0261

岐 阜 （058）275-0805
豊 橋 （0532）33-1500
静 岡 （054）283-2220
松 本 （0263）57-4625
福 井 （0776）23-8153
金 沢 （076）249-5301

関 東（シ）（03）3499-5632
関 東（工）（03）3499-5631
東 京（支）（03）3409-5505
新 潟 （025）287-3155
横 浜 （045）784-1422
八王子 （042）637-1699
千 葉 （043）232-5335
さいたま （048）663-8000

前 橋 （027）263-3767
水 戸 （029）248-3870
宇都宮 （028）636-1210

東北北海道（シ）（022）786-5062
仙 台（支）（022）786-5060
郡 山 （024）952-0095
盛 岡 （019）641-1500
秋 田 （018）862-7523
青 森 （017）742-4227
札 幌 （011）782-0711
釧 路 （0154）23-8466
旭 川 （0166）25-3111

（シ）：システム営業グループ
（工）：工事グループ

KW(N)･03-5334-1T
MAR., 2010